

〔麦 類〕

1. 作付の概況

九州地域における平成30年産の麦類の作付面積は56,300ha で、前年と比べて900ha増加した。麦種別では、小麦が33,400ha、二条大麦が21,100ha、裸麦が1,750ha、六条大麦が3haで、前年に比べて小麦は700ha増加、二条大麦は増減なし、裸麦は120ha増加した。全国の作付面積に占める九州地域の割合は、小麦が15.8%、二条大麦が55.1%、裸麦が32.3%、六条大麦が0.02%であった。県別では、小麦は福岡、鹿児島を除く各県で増加した。二条大麦は、佐賀、鹿児島を除く各県で増加した。裸麦は、長崎を除く各県で増加した。六条大麦の作付面積は減少した。

2. 生育概況

播種期は天候に恵まれ、播種は順調であった。12月上旬から2月中旬まで気温は低めに推移し、生育は遅れ気味であった。3月以降の気温はやや高めで推移し、出穂はやや早くなった。4月以降も気温は高く、平年より日照時間も長くなったが、4月下旬から5月上旬まで降水量が多く、その後成熟期までは降水量が少なくなったため、成熟期がさらに早まり、やや枯れ熟れ気味であった。容積重は平年並みかやや小さくなったが、千粒重は平年並みであった。穂数はやや少なく、収量も平年よりやや少なかった。赤かび病の発生はやや多かったが、赤さび病・うどんこ病の発生は認められなかった。梅雨入りは平年並みの6月5日であった。収穫時には天候に恵まれ、収穫は順調であった。成熟期の高温により外観品質はやや不良であった。

3. 作柄の概況

九州全体の10aあたり平均収量（過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均）対比は、小麦で115、二条大麦で115、裸麦で115で、平均収量を上回った。また、各県の10aあたり平均収量対比は、小麦は沖縄を除くと宮崎県の62が最も低く62～122、二条大麦は熊本県の95が最も低く95～123、裸麦は49～122であった。県別で作付面積が300haを超える麦種では、熊本県の二条大麦の作柄が不良であった。

（九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 小麦・大麦育種グループ長 中村和弘）

平成30年産麦類の作付面積と収穫量

(麦種) 地域・県	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	前年産との比較						(参考) 10a当たり 平均収量 対比
				作付面積		10a 当たり 収量		収穫量		
				対差	対比	対比	対比	対差	対比	
(小麦)	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	
全九州	211 900	361	764 900	△ 400	100	85	△ 141,800	84	90	
福岡	33 400	349	116 600	700	102	106	9 300	109	115	
福岡	14 800	371	54 900	0	100	110	5 000	110	116	
佐賀	10 100	365	36 900	460	105	102	2 300	107	117	
長崎	608	258	1 570	73	114	93	80	105	100	
熊本	4 970	308	15 300	90	102	106	1 100	108	106	
大分	2 750	281	7 730	60	102	112	950	114	122	
宮崎	116	120	139	5	105	47	△ 146	49	62	
鹿児島	35	124	43	0	100	76	△ 14	75	77	
沖縄	29	155	45	6	126	127	17	161	89	
(二条大麦)										
全九州	38 300	318	121 700	0	100	102	2 000	102	106	
福岡	21 100	310	65 500	0	100	117	9 600	117	115	
福岡	6 070	313	19 000	120	102	117	3 100	119	116	
佐賀	10 500	328	34 400	△ 200	98	122	5 700	120	116	
長崎	1 230	324	3 990	30	103	127	930	130	129	
熊本	1 750	246	4 310	30	102	88	△ 470	90	95	
大分	1 350	245	3 310	90	107	102	290	110	117	
宮崎	55	308	169	9	120	120	51	143	133	
鹿児島	141	238	336	△ 11	93	122	40	114	123	
沖縄	x	x	x	x	x	x	x	x	nc	
(裸麦)										
全九州	5 420	258	14 000	450	109	101	1 300	110	102	
福岡	1 750	271	4 740	120	107	112	780	120	115	
福岡	504	314	1 580	57	113	131	510	148	116	
佐賀	225	324	729	6	103	115	114	119	119	
長崎	77	173	133	△ 25	75	127	△ 6	96	114	
熊本	157	229	360	23	117	111	83	130	122	
大分	748	253	1 890	43	106	98	70	104	113	
宮崎	14	66	9	5	156	70	1	113	49	
鹿児島	21	164	34	5	131	93	6	121	110	
(六条大麦)										
全九州	17 300	225	39 000	△ 800	96	78	△ 13 400	74	79	
熊本	3	387	13	△ 9	25	99	△ 34	28	129	
熊本	-	-	-	x	x	x	x	x	-	
大分	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
鹿児島	x	x	x	x	x	x	x	x	x	

注：1) 「(参考) 10a 当たり平均収量対比」とは、10a 当たり平均収量（原則として過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a 当たり収量の比率である。

2) △は減少、×は非公表を示す。

3) 資料は平成31年3月25日農林水産省公表の「平成30年産麦類（子実用）の収穫量」による。

4) 統計数値については、四捨五入により合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの